

平成25年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 道路ネットワークの充実
-----	---------------

施策主管課	土木管理課	総合計画記載頁	134ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	22 円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する	政策の達成目標 (基本施策目標)	総合的な交通体系の構築により、公共交通や自動車、自転車などのあらゆる交通手段が相互に連携した、円滑で利便性が高く、安全で、ひとや環境にもやさしい、誰もが利用しやすい交通環境がつけられています。
------	----------------------------------	----------------	---------------------------	---------------------	--

2 施策の取組状況

施策目標	円滑で機能的な道路ネットワークが構築されています。
------	---------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24 (H23.3現在)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	都市計画道路の整備率(%)	単年度目標値	67.5%	70.7%	71.6%	72.9%	72.9%			73.1%	A	指標2	都市計画道路整備率(%)	中核市平均	61.9%			
	現状値	実績値	67.5%								実績値		67.5%						
	目標値(H29)	単年度の達成度	73.1%								中核市での本市の順位		17位/41市中						
		単年度目標値									中核市平均								
	現状値	実績値									実績値								
	目標値(H29)	単年度の達成度									中核市での本市の順位								
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	
	目標値(H29)	単年度の達成度																	
		単年度目標値																	
	現状値	実績値																	

3 施策を構成する事業の状況

No.	事業名	戦略P・主要事業	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		開始年度	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物（誰・何に）	取組（何を）		
1	都市計画道路整備事業	○	幹線道路の整備	市民・道路利用者	道路築造・改良整備	—	都市・地域間の連携強化、災害に強い都市基盤をつくるために必要な事業であることから、早期事業効果発現に向け選択と集中を徹底し、事業を継続していく。また、国庫補助制度を活用し財源確保を図るとともに、早期に事業効果を発現していくため、整備手法・工法等を適正に選択しながら事業に取り組む必要がある。
2	幹線市道整備事業	○	幹線道路の整備	市民・道路利用者	道路築造・改良整備	—	幹線道路整備に対する市民のニーズは依然として高いことから、「道路見える化計画」に計上された道路など優先順位をつけながら、引き続き重点化を図り、事業を継続していく。また、国庫補助制度を活用し財源確保を図るとともに、手法・工法等を適正に選択しながら事業に取り組む必要がある。
3	プロジェクト関連整備事業		幹線道路及び生活道路の整備	市民・道路利用者	道路築造・改良整備	—	公共施設整備や事業開発等に係わる計画にあわせ、当該事業を実施していく必要がある。また、公共施設の新設等による交通環境整備のニーズは高いことから、今後も当該事業の必要性などについて十分な検討を行いながら、効率的に事業を実施していく必要がある。
4	橋りょう新設改良事業		幹線道路及び生活道路の整備	市民・道路利用者	橋りょう改良整備	—	円滑な交通機能や通行の安全性を確保する事業として必要であることから、今後も計画的に事業を実施していく。また、効率的な整備手法を見極め、整備にあたっては、工法や材料等について適正な選択を行いながら、さらなるコスト削減に努める必要がある。
5	右折レーン設置事業		交差点・踏切り改良の整備	市民・道路利用者	道路改良整備	—	当該事業は、円滑な交通機能を確保する事業の一つとして有効であることから、周辺交通の渋滞状況を考慮するとともに、「道路見える化計画」に計上された道路など優先順位をつけながら、計画的に整備を進めていく。また、使用する資材については、再利用や適切な選択を図りながら、さらなるコスト削減に努める必要がある。
6	橋りょう維持修繕事業	○	橋りょうの長寿命化・耐震化の推進	市民・道路利用者	橋りょうの維持修繕	H6	・橋長15m以上の橋梁のうち跨線橋、跨道橋など、2次災害の影響が大きい23橋について、耐震化が平成25年度に完了を見込んでいる。さらに、10m以上の橋梁についても橋梁耐震計画を策定し、計画的な事業推進を図る。また、橋梁長寿命化については、計画的に事業を推進すると共に、効率的、効果的な修繕を図る。
7	道路バリアフリー推進事業		道路バリアフリー化の推進	市民・道路利用者	点字ブロックの設置及び歩道のバリアフリー化	H13	・点字ブロックについては、中心市街地や郊外部の公共施設や福祉施設などの沿線道路に整備を進めてきたところであり、概ね完了している。今後は、既整備箇所の状況や整備年次を把握し、管理台帳等を作成するなど計画的な維持修繕を検討していく。・歩道のバリアフリー化については、交差点部の段差解消を含めた歩道の改修を行うため市内の歩道の整備状況や整備時期等を把握し、計画的な修繕を検討していく。
8	生活道路整備事業		生活道路の整備	市民・道路利用者	道路改良整備	—	生活道路整備に対する市民のニーズは依然として高いことから、引き続き地域の交通事情や緊急性などを勘案するとともに、効率的な整備手法を検討しながら、効果的に事業を進めていく。また、通学路対策に寄与する路線については、新たなパッケージによる国庫補助の導入を図りながら、事業を実施していく。
9	道路排水施設整備事業		生活道路の整備	市民・道路利用者	道路排水施設の整備	H15	道路冠水被害や通行の安全確保及び生活環境の向上を図るため、効率的・効果的に整備を進める。また、その他の被害箇所についても、課題を整理し、事業の拡大を図り早急な被害の軽減対策に努める。
10	舗装新設改良事業		道路の維持修繕	市民・道路利用者	路面の状況に応じた工法による、アスファルト等で舗装の修繕	H18	これまで、舗装新設改良については、日常のパトロール等に基づき劣化や損傷した路線について優先順位を定め実施してきたことであるが、今後は、幹線道路等の点検を行い、舗装の現況データを評価したうえで、道路の役割や機能に応じた維持修繕等の区分や長期的な修繕計画を策定し、計画的かつ効率的な維持修繕を行っていく。
11	交通安全施設整備事業		交通安全施設の整備	市民・道路利用者	交通安全施設の整備	S45	交通安全施設については、これまで、交差点や事故多発箇所における安全対策として、積極的に整備を行っており、それらの施設が、更新時期を迎えていることから、施設管理台帳及び現地調査により、ストック量調査を行い、計画的かつ効率的な維持修繕が実施できるよう検討を行っていく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆震災により、災害に強い都市の基盤づくりの重要性が再認識されたところであり、災害時における人・物資等の輸送を支える交通機能、さらに地震などの災害時の一時的な避難路や火災の延焼防止の各種活動を支える防災空間機能など、多様な機能を担う幹線道路の整備については、引き続き都市の骨格となる道路網の形成に向け計画的に取り組む必要がある。</p> <p>◆高度経済成長期に数多く作られた道路施設が、今後急速に高齢化の時期を迎えることから、国において道路等の社会インフラの総点検に関する補助制度が創設されており、予防保全や劣化対策、耐震補強など適正な維持管理による安全の確保と、延命化に向けた取り組みをより一層強化する必要がある。</p> <p>◆道路整備に係る財源は厳しい状況にあることから、計画的な整備に必要な特定財源を確実に確保していく必要がある。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉 社会資本整備に対する厳しい財政状況が見込まれる中、各事業の費用対効果や緊急性など、事業の優先度を考慮しながら、計画的かつ効率的に事業を推進していく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆都市計画道路及び幹線市道整備事業については、都市間の道路交通機能や都市防災機能を充実させるため、国庫補助金などの事業に必要な財源確保に取り組みながら計画的に推進する。 ◆橋りょう維持修繕事業については、2次災害の影響が大きい重要な23橋の耐震化を進めるとともに、さらに、10m以上の橋梁についても橋梁耐震計画を策定し計画的に事業を推進する。</p> <p>〈その他個別事業〉 ◆道路バリアフリー推進事業については、特定道路などにおける点字ブロックの整備は概ね完了したところであり、交差点部の段差解消などの歩道のバリアフリー化について計画的に取り組む。 ◆舗装新設改良事業については、維持修繕等の区分や長期的な修繕計画を策定し、計画的かつ効率的な維持修繕を行っていく。 ◆交通安全施設整備事業については、施設が更新時期を迎えていることから、計画的かつ効率的な維持修繕に取り組む。</p>